

静岡県板ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目12番4号
(タウンコート常磐町 1F)TEL. 054-252-2418
FAX. 054-252-2430

発行人 松浦 源

静岡県 優秀技能者賞 鈴木文雄氏に



鈴木文雄氏（富士宮支部）は、11月26日（木）県庁西館「第1会議室」で開催された静岡県職業能効開発協会表彰式において、優れた技能をもつて産業界の発展に寄与すると共に技能者の育成等に果たした功績により今年度の静岡県優秀技能者として、静岡県知事の功労表彰を受けました。

鈴木氏は、およそ52年余りにわたり建築板金業に従事しているが、伝統的な銅板一文字葺工法、銅板加工技術に優れ、これららの屋根や銅板加工に関する新技術の普及や技術開発に熱心で、様々な新技術を積極的に取り入れながら自らも新技術の研究開発を進めるとともに新技術を自ら実践し、東奔西走しながら青年層

を中心に地域全域にその内容を発信し、新技術を普及した。また、鈴木氏が、自ら施工したハマグリや鬼の製作技術を中心に富士宮、富士から東部地域、県下全域に積極的に普及したことによって、長尺屋根の新技術による恩恵を多くの板金業者が享受することとなつた。

特に、独自で研究・開発したハマグリ葺工法は

銅板一文字葺工法として東部地域から県下に広く普及していった。さらに、鈴木氏は、青年層に対して、伝統的な銅板一文字葺工法を積極的に指導すると共に全国建築板金競技大会3位の実力をもって地区の技能検定受験者に対する技術指導を行なうながら銅板加工の面白さや技術を自社の工場等で伝承している。

これに加えて、組合の技術検定委員として地域住民の建築板金に対する意識を高めるため、ものづくりマイスターとしてノフエア等に参加して地域住民に建築板金の重要な役割をPRする活動を行なっています。この度は誠にありがとうございました。

鈴木文雄氏から 受賞の喜びが次のよう に寄せられました。

この度の県知事表彰受

章は私にとりまして身に余る光榮と存じます。また、表彰式には理事長及び副理事長から身に余る祝福をいただき心から厚くお礼申し上げます。

先輩方が数多くおられる中、私のような若輩者が名譽ある知事表彰を受章させていただいたことは、ひとえに諸先輩方並びに皆様方のご指導ご支援の賜物と深く感謝申しあげるとともに改めて厚くお礼申し上げる次第です。

私はいたしましては、この受章を機会に、微力ではありますが、静岡県板金工業組合並びに建築板金業界発展のためより一層、努力する所存でありますので、組合員の皆様におかれましては今後共、ご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

全技連会長表彰 の受賞

早川誠二氏

会計理事

技能振興に顕著な功績
のあった労働者に贈られ

る中、私は、ひどくお詫びせさせていただいたことは、ひとえに諸先輩方並びに皆様方のご指導ご支援の賜物と深く感謝申しあげるとともに改めて厚くお礼申し上げる次第です。

私はいたしましては、この受章を機会に、微力ではありますが、静岡県板金工業組合並びに建築板金業界発展のためより一層、努力する所存でありますので、組合員の皆様におかれましては今後共、ご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

この度は誠にありがとうございました。

出場者に対しては、8月30日（日）に事前講習会が行われ、講師の熱心な指導により、本大会では参加者全員が所定の時間内に作品を仕上げるよう努力した。

終了後、競技審査員によ

る厳正な審査が行われ、規定の得点に達した選手

が入賞者となつた。

（入賞者の表彰）

11月25日、静岡県技能

競技大会の表彰式が県技

能士表彰式として「清水テ

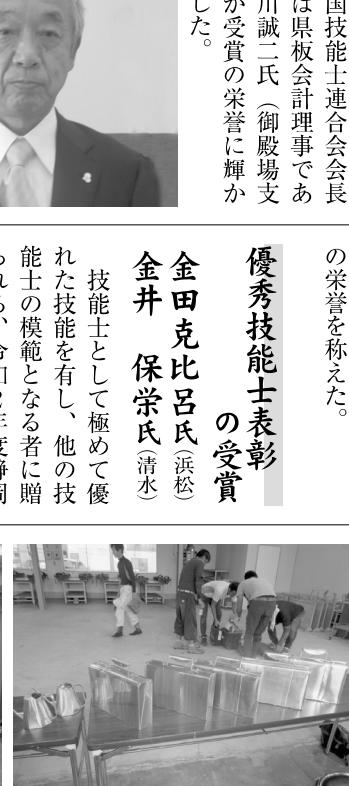
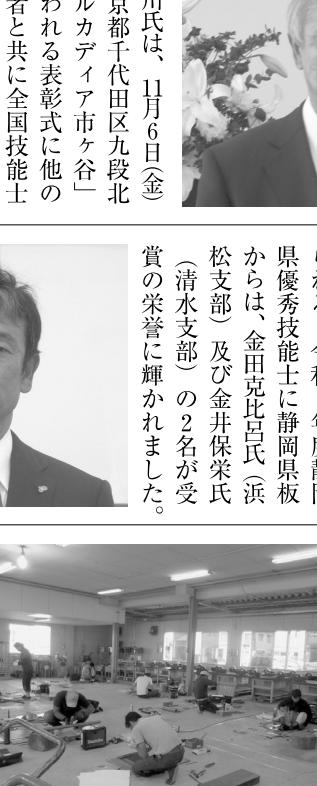
ルサ」で行われ、静岡県

板からは、次の方が受賞

された。

（入賞者の表彰）

11月25日、静岡県技能競技大会の表彰式が県技能士表彰式として「清水テルサ」で行われ、本県板からは、優秀技能士表彰の受賞者（A・水差し、B・A4 bag）の完成に向け、全力を集中して取組んだ。



優秀技能士表彰 の受賞

金田克比呂氏（浜松）
金井保栄氏（清水）

技能士として極めて優れた技能を有し、他の技能士の模範となる者に贈られる、令和2年度静岡県優秀技能士に静岡県板金支部から金田克比呂氏（浜松支部）及び金井保栄氏（清水支部）の2名が受賞の栄誉に輝かされました。

表彰は県板会計理事である早川誠二氏（御殿場支

部）が受賞の栄誉に輝か

れました。

の栄誉を称えた。

くり体験



と、この派遣事業を大変な努力と犠牲を払つて実施しているのが実情です。この他にも、県ものづくりフェスタや各技術専門校の技能祭、各地区のものづくりイベントへの参加等めまぐるしく出展指導の機会が連続的に展開されています。

元より美しい輝きを放つ銅板細工は人気が有り児童・生徒からの要望も多く寄せられています。

現在は、理事長始め21人のマイスターでこの事業を担当しており、東部地区及び中部地区はマイスターが充足していますが、西部地区のマイスター数は6名でやや不足気味です。

これらに対応するため昨年度、東・中部地区の現員数を2名追加認定して、15名体制で今後、伊豆地区や志太・榛原地区にまで順次拡大していくこと見込まれる体験学習の実情に対応することとなりました。

実施関係機関からは今年度、大幅に増加するととの見込みを聞いておりましたが、新型コロナウイルスの感染防止対策に連してか、現在のところ実施個所は昨年度と同じ9か所となっています。

これに魅力講座を含め

「初めて銅板へラ出しを作りましたが、いろいろな作業を順番通りにやる作業は、どれも難しく大変なことだと思いました。特に、ボールペンで、絵の線をなぞる作業は、力が入りすぎ、腕が痛くなりました。

また、他の作業では、様々な注意事項を認識しながらの作業でしたので、一つの作品を完成させるまでに多くの時間を費やしてしまい、完成了のは最後でした。

これをいつも作っているマイスターはすごいと思いました。」

「僕は最初、銅板へラ出しのものを全く知らずに知識ゼロの状態で、挑戦しました。

銅板の扱い方、線の活かし方、力の配分など、様々なことを教わりました。

すべてのことを丁寧に教えていただき、作業がとてもしやすかったです。マイスターの先生方のおかげで、思っていたより素敵な作品となりました。

まもなく寒くなりますので、風邪などひかれませんようご自愛ください。ありがとうございました。」

などの感想文が寄せられています。

令和2年度のWAZA
チャレンジ教室は10月23
日の沼津市立今沢中学校
を最後に無事終了した。
県下9校で実施され、
125名の児童・生徒を
対象に実施される予定で
あつたが、新型コロナウ
イルスの影響で、前期の
4校が全てキャンセルと
なり、後期の6校のみが
実施され、参加した児童・
生徒は63名であつた。
派遣された指導員は延
べ19名となり、例年の3
分の1程度となつた。各
校の生徒からは、指導員
に対して昨年同様感謝
の手紙が届けられる予定
。また、今年度も昨年度
に引き続き県職業能力開
発課からの要請もあり、
臨時に商業施設における
WAZAチャレンジ教
室として令和3年2月23
日に「松坂屋静岡店」で
開催される「現代の名工
展」の協賛事業として児
童若干名を対象に実施し
する予定であり、最終的
には6か所、80名を超える
児童生徒に対して教室
を実施する結果となる見
込みである。

結果として、参加技能
士も20名を超えることと
なる見込みです。

今年度の児童生徒の感
想文は届いておりません

WAZA

WAZA チャレンジ教室 に参加して

黙々と作業する子と様々で大変な面もありました
が、出来上がった力作を
我々指導員が磨き、ぴかぴかになった作品を何度も
や生徒からのお礼の言葉に癒されました。

富士見小学校では時間
内に完成できなかつた子
もありましたので、後日
指導員の一人が仕上げて
学校に届けました。

新型コロナウイルスの
感染防止対策を踏まえて
の開催でしたので、多少
の不安もありましたが、
子供たちにものづくりを
体験してもらい、この職業
業に関心をもつてもらう
ことも大切だと感じました。
参加していただいた指導員の皆様ありがとうございました。

（木）裾野市立西中学校、
10月21日（水）裾野市立東中学校において今年度の
WAZAチャレンジ教室を開催しました。

裾野西中学校8名、裾野東中学校20名が参加しました。

両校の先生との打ち合わせを事前にを行い、今回の課題は「バラ」での実施となりました。

滝支部長の挨拶に始まり、銅板へラ出しの作業にとりかかり、下書きボーラーペンでの線だしで、指や手が痛い様子でしたが、生徒の皆さんは一生懸命に取り組んでいました。途中休憩時間もありましたが、休みも取らずに作業している生徒があり、感心しました。

作業中盤から終盤になりましたが、細部まで綺麗に仕上げを行い、磨き作業、クリアースプレー塗装して各生徒に渡しました。

仕上がりがつた作品は生徒の努力の成果が出た良い作品になりました。



たが、生徒の皆さんは一生懸命に取り組んでいました。途中休憩時間もありましたが、休みも取らずに作業している生徒があり、感心しました。

裾野市立東中学校

裾野市立西中学校

指導員の安全についてもどのように行っていくのか考える時が来たように思います。

沼津市立今沢中学校**三島支部 大川雅義**

13時10分から沼津市立今

沢中学校において今年度

のWAZAチャレンジ教

室を開催しました。

参加生徒は10名、指導

員4名、課題は「アヤメ」

で実施しました。生徒は

初めての作業で、指が痛

いと言ひながらも一生懸

命取り組んでくれました。

途中で、休憩時間を取

りましたが、休憩せずに

作業に集中する生徒の姿

がありました。

対象が中学生というこ

ともあり、既定の時間よ

り早く作業を完了しまし

た。

そして完成した自分の

作品を手にものづくりの

達成感を各々感じていた

ようでした。

ご多忙の中、ご協力く

ださいました支部員の皆

さまありがとうございました。

た。

そこで完成した自分の

作品を手にものづくりの

達成感を各々感じていた

ようでした。

ご多忙の中、ご協力く

ださいました支部員の皆

さまありがとうございました。

た。

県板組合員の皆さまに

バーベキュー大会を開催

理事兼清水支部長

林 孝之

は大変お世話になつてお

ります。

今年、未曾有の新型コロナウイルスの影響で、計画した行事の大半が中止、延期となる中、清水支部青年部は、新型コロナウイルスに負けない丈夫な体と、団結力を育成するため、暑い夏の盛り7月19日(日)にバーベキュー大会を清水区幸町の林支部長宅倉庫で13名が参加し、盛大に開催しました。

ビールでの乾杯に始まり、仕事の話、支部の話、組合の話などで大いに盛り上がり、夕方遅くまでお互いの親睦を深めまし

た。

君が心強く、限りなく頼もしく感じた次第です。

いまだに、新型コロナウイルスは猛威を振るい、

第三波が危惧され、収束の兆しは見えておりませ

んが、来年の全板静岡大

会に向けて、組合員一丸となつて頑張りましょう。

もう師走の足音も聞こえます

る今日この頃です。

皆様方にはどうぞ、お

体をご自愛いただきます

ようお願いいたします。

支部長といたしまして

は、これから清水支部を担つてくれる青年部の諸

すべり止め、消防器・灰皿の設置及び整理・整頓他などについて、40件が指導対象となつた。

特に東部地区のパトロールには、富士労働基準監督署の安全衛生課長に

が指導対象となつた。

すべて止め、消防器・灰

業主任者の選任・掲示、保護帽の着用、安全帯の着用、高所作業における墜落防止、移動はしごの

監督署安全衛生課長他が

参加して現場を調査指導した。

地区で実施され労働基準監督署安全衛生課長他が

参加して現場を調査指導した。

10月22日 東部地区(富士地区)

10月20日 中部地区(榛南地区)

11名参加 7現場

8名参加

10月24日 西部地区(西遠・浜松地区)

10月24日 中部地区(西遠・浜松地区)

11名参加 5現場

6名参加

10月24日 西部地区(西遠・浜松地区)

10月24日 西部地区(西遠・浜松地区)

11名参加 5現場

6名参加

10月24日 西部地区(西遠・浜松地区)

10月24日

全板静岡大会推進会議の結果(第14回推進会議までの経過措置を含む。)

2.11.9

- 第72回全板静岡大会の延期
令和2年5月20日(水)、21日(木)で開催が予定されていた第72回全板静岡大会は、3月26日午後の全板連の常任理事会の決定により、会場は静岡ツインメッセのままでし、令和3年5月19日(水)(前夜祭)及び20日(木)(本大会)に延期されることになったので、組合員、静岡県、静岡市、協力店、メーカー関係機関に対して通知し、理解と協力を求めた。
- 観光パンフレット(静岡市するが企画観光局が提供)
高知大会での事前ピアールに使用する観光パンフレットは静岡市するが企画観光局で準備し、郵送料は県板が負担した。
また、全板連の小林事務局長との話の中で、3,500部程度に下方修正する必要があるとしていたが、結果として必要数を2,600部に修正し、高知県の大会会場に送付した。
また、県の観光パンフレットは、全員用に用意できなかったため、会場入り口にて、希望者に配布する。なお、「ぶどうよこ静岡」「ぐるめナイトマップ」及び「おもてなしクーポン」は参加者全員に静岡市するが企画環境局にて用意することとなっていた。
大会延期後もこのように対応することを令和2年10月6日、「するが企画観光局」に確認済み。
- 参加者への土産
土産は用意しないことで決定している。
- のぼり旗及び横断幕
のぼり旗は宮城・高知の事前PRを参考に50本及び横断幕1枚とする。
県庁美術協同組合技能士会から見積を徴して準備委員会に踏ったところ、のぼり旗50枚、ポール50本、横断幕1種類(宮城方式7.5m)で作成し高知県でのピアール活動に使用した。
静岡大会では、のぼり旗を会場周囲のフェンスに固定するか、組合員が持つて会場に立つ予定。横断幕はメイン会場の北館の壁に貼り付ける予定。
- 参加人員見込み(組合員、従業員等参加人員を280名「当初300名」と見込む。)内、女性を15名程度「当初30名」とする。
- ブルゾンコートは上記を踏まえて350着、準備委員会において準備した。
(L200着、LL150着、すでに全組合員に配布し、高知県大会で使用した。)
今後、女性・従業員の分など今後、大会規模の変更に合わせて計画的に配布する。
- 記念モニュメントは折鶴に決定
大会記念モニュメントは折鶴と青年部を中心となって見本づくりなどを行なう各支部に折鶴の見本を配り各地区で300個を作成することとし元年10月26日以降に各地区に材料の鋼板900枚を配布し各支部において作成した。
(鶴一人3羽、アルミ「500ミリリトル缶」一人1羽)アルミ材料についても調達・配布した。現在、青年部が中心となって作業を進めた結果、折鶴による富士山は3月15日に完成した。大会終了後は富士山静岡空港など県関係機関等に働きかけ寄贈予定としている。
- 協力店・メーカーへの記念広告料等要請
いくつかのメーカーから具体的な支援要請をお願いしたいとの依頼が有ったが、県板負担分の記念誌の発行に対する1冊10万円の広告料をお願いする方向で松浦理事長から協力店及びメーカーに説明し協力を要請した結果、この報告で了承された。
また、この件については、多少の行き違いがあったので元年9月24日に急遽、説明会を開催し、協力店・メーカーにお願いした結果、原案通り広告料として要請することとなり、具体的には1月中旬に理事長及び地区長などが各店、各メーカーを訪ねて協力を依頼した。
結果として200万円の広告収入を見込んでいる。
記念誌の編纂は令和2年11月頃に再開予定。
- 組合員企業及び関係機関の広告料はA4判2万円、半分は1万円とし、広告の対象は地区、支部も広く含めることとし1月末を目途に広告を募集している。100万円の広告収入を見込んでいる。これについても令和2年11月再開予定。
- 静岡商工中金からの補助金繋ぎ融資
平成30年10月上旬に静岡商工中金に対して2020年の全板静岡大会への融資について相談した。(組合定款、28~30年度の総代会議事録、議案書、各県大会記念誌の表紙を提出。)
その他、静岡大会実施計画、市役所の後援名義使用許可書の写、組合員名簿、大会収支予算書、補助金内訳書を提出し、全体の経費は18,000千円掛かるなどと説明。補助金が入金されるまでの繋ぎ融資を依頼した。
平成30年10月25日に商工中金から融資する方向であるとの連絡が有った。令和3年1月に入ってから準備を進める。
- 救急対応のための看護師2名の確保は完了している。
ミス静岡は現在、不在のため、式典アテンダント2名を確保した。
看護師は救急用品及び血圧計の傾向が望ましいとの説明があったので、県板において、簡単な血圧計及び救急セットを使用する。
- ポスター及び大会記念誌の発注
これについては見積もり合わせの結果、倣チヨタに発注し、ポスターについては各種サイズ計1,100枚を印刷し各県に配布した。
大会記念誌は全板連に先立って準備を進め、大方の広告等の原稿は出揃ったが、大会延期が決まる一日前の3月25日から一時中断している。
今年の12月頃、編集作業を再開するが、現在、最大2,200冊の印刷を予定している。また、ポスターの後援名については10機関から承認された。
(7月19日、全国・県内各支部に向け、発送済み(評判が良い))
なお、静岡大会が令和3年5月19日、20日に延期されたため、すでに配布してある各都道府県に対し修正用シールを作成し配布した。
一部A4判については新たに印刷して活用することとした。(経費は全て全板連の負担とした。)
なお、県、市、関係機関から新たに印刷したポスターが欲しいとの要請があり、県板単独で、B2判100枚、B3判100枚の計200枚を印刷した。

- 前夜祭のアトラクション
前夜祭のアトラクションについては、マグロの解体ショー、さき酒のコーナー設置など、センチュリーホテル静岡に問い合わせているが高額であり実施は困難であると思われる。少し頑張って利き酒コーナーあたりが限界か。

- バス駐車場の確保
バス駐車場については、約160台分を確保する方向でツインメッセの担当と共に努力した。(清水港日の出埠頭70台、IAIスタジアム60台、グラニシップ駐車場30台の計160台は確保できる見込みであった。)
なお、バス駐車場の警備及び誘導は日本旅行において対応する予定であり県板は要員を割く必要はない。

- 現在はキャンセルしており、令和2年11月頃から再度借り入れ申し込みを行う予定としていたが、全板連小林事務局長から令和2年9月下旬に再度確保依頼があり、同10月9日までに再度関係機関と調整を図り、日の出埠頭50台及びIAIスタジアム70台分の計120台分を確保した。

- ただし、日の出埠頭の50台分の駐車場は正式な許可ではないので、使用せずにIAIスタジアムの70台分を優先的に使用する。

- また、ここについてはバス1台990円の使用料が加算されることになった。(70台で69,300円が必要)また、競輪場の南第1駐車場(自家用車250台分)の借用については、大会会場から2,5千戸地点であり、利用価値が低いことが予想されるが、新型コロナウイルスの影響から参加手段を自家用車へ変更することが懸念されるため、引き続き確保することとした。

- 県産品等の販売ブースの確保

- これについては、厚生労務委員会が中心となって決めてゆくこととなり、全板連と交渉した結果、9月中旬に5ブースを確保することになったが、2月26日に1ブースを追加し最終的に6ブースとなった。

- 出店の内容は、駿府楽市4ブース、酒店2ブースである。設置費は1ブース(3m×3m)5万円であり、このうち、県板が4万円を負担し、出店者からは1万円を徴収することになった。

- 出店申し込みについては第14回推進会議終了後手続きを開始したい。

- 前夜祭及び大会当日の実施体制・体制図の整備

- 全板連から前夜祭及び大会当日の体制図を作成してそれぞのセクションを統制しながら対応するよう指示が有り、実施体制図の基礎を作成した。さらに細部について対応し、第14回拡大推進会議に踏ったが北村厚生労務委員長の辞職もあり、第14回推進会議において実施体制図の変更を行った。

- 弁当の調達先の決定

- 弁当については一人当たり1,200円に単価が改正されたので、条件は改良され、1月23日の第10回推進会議において東海軒、天神屋、おじろ弁当の3社の弁当を試食し、投票した結果、弁当の発注先は東海軒に決定した。

- 前夜祭の出席者

- 前夜祭の出席者は、招待者30名、県板からの出席者75名を特定するため、招待者案及び県板からの出席者に関する考え方をまとめ、第10回推進会議に踏った。なお、招待者30名を除く県板からの出席者75名は役員26名、その他49名であり、全組合員数を49で除して組合員何人に一人を選出するかを算出し、支部の組合員数を除して決定した。

- これについては各支部に対して、3月中旬までに県板事務局に報告することとし、参加希望者(有料)についても併せて事務局に報告することとしたいと考えているが、詳細は推進会議に踏っていきたい。

- また、10月上旬に至るまで全板連小林事務局から、新型コロナ対策の一環として、前夜祭の開催規模についても再度、検討の余地があるため、県板の割り当て人員についても今後相談していきたいとの連絡あり、11月5日の常任理事会において、大会規模の決定がされるので、静岡県の参加規制の決定は前夜祭規制の確定までご猶豫願いたいとの連絡あり。

- 11月9日付けて、全板連小林事務局長から連絡があり、前夜祭の規制は当初の2分の1の規制となるため、細部につき、今後相談していきたいとの連絡あり。

- 宿泊施設の確保

- 現在、3年5月19日の宿泊施設をホテルアソシアに確保している。

- シングル 40室(税込み朝食付き15,580円)

- ツイン 20室(税込み朝食付き13,980円)宿泊希望者は県板事務局までご連絡願いたい、とした。(これについては、大会中止を受けて、全てキャンセルし来年度同時期で再び確保した。)

- 静岡県知事、静岡市長への表敬訪問

- 令和2年3月17日に全板連の天野理事長、小島専務理事、静岡県松浦理事長他で、静岡市長、副知事は表敬訪問し、閑催に向けて確かな感触を得た。

- (大会が延期になったため、県知事、静岡市長へ表敬訪問を再度、行うかどうかは未定。)

- 全板連の天野理事長は上記17日の表敬訪問に際して、静岡市長及び難波副知事に対して、今般の新型コロナウイルスの蔓延状況に対する全板連の考え方を説明した。この3月26日に緊急常任理事会を招集して静岡大会の開催についてどう扱うかを決定したいとのことであった。

- なお、この決定は各都道府県組合に対して当日のうちに連絡したいとの意向であったが、結果として3月26日の午後、令和3年5月19日、20への延期が決まった。

- 静岡市「茶つき娘」事業の活用

- 静岡市清水区役所農政課政策「お茶の町推進係」で担当して「茶つき娘」事業の中で、「茶つき娘」10名程度の派遣を依頼し、展示会場であるツインメッセ南館の入り口付近で展示会場の来客に対してお茶の接待を行う。

- これについては、静岡市と相談し、この新型コロナウイルスが猛威を振るう中、実施が可能ならば実施に向け、全板連に働きかけていく。

欲しい物がここにある

さまざまなニーズにお応えします

西川鋼販株式會社

鐵鋼二次製品 卸・加工

本社／〒437-1302 掛川市大渕9617
TEL 0537-48-3828㈹ FAX 0537-48-2644
ホームページアドレス <http://www.nishikawakouhans.com/>

事業者様向けの会員制カタログ・インターネット通販
会員登録料無料・年会費無料 ご注文は24時間MAIL-FAX受付

・エスコ便利カタログ(工具、機器、部品、消耗品、備品)代理店
ファーストリフォーム(施工のプロための住宅建材)代理店

高級鋼板製スパンドレル

エバーライン® 1K型スパン(幅2.148mm 山高19.5mm)
(3山角スパンタイプ)

製品形状・製品カラーについては、当社までお問い合わせ下さい。

屋根・外壁に穴あけない
ソーラーパネル取付金具

板金王® 瓦王® 外壁王®

PVロッック® レンタル契約 ¥6,000(税抜)/月額

お求めは静岡県特約販売店10社へ

総発売元 西川鋼販株式會社

詳しくは当社ホームページでご確認ください。

鋼板製ルーフ＆サイディング材の製造・販売



www.koike-s.jp



株式会社 小池弥太郎商店

〒420-0922 静岡市葵区流通センター16番

本社・静岡工場/東京事務所/藤枝支店/牧之原工場

TEL:054-263-2280 FAX:054-263-6163

KMEW

はる一番に待望のレンガ柄登場!

外観に草花としたレンガの美しい。

風格を演出する、存在感のあるデザインです。

3色塗装により、どっしりとしたレンガの質感を表現。

アパートなどの非住宅にもおすすめです。

デザインクリエイティブ

はる一番 煉石柄III

ケイムー株式会社 静岡営業所 〒420-0817 静岡市葵区東静岡1丁目2番14号 TEL:054-261-0336